

ごうがひら  
**郷ヶ平古墳群発掘調査**

**現地説明会資料**



2011年10月2日

(財)浜松市文化振興財団・浜松市文化財課

## はじめに

郷ヶ平古墳群は、北区都田町に位置し、5世紀終わりから6世紀前半に築かれた総数8基からなる古墳群です。郷ヶ平古墳群では、前方後円墳の4号墳を残して、姿を消してしまいましたが、2011年9月1日から実施した発掘調査で、3号墳の存在を確認しました。現在調査している範囲では、聞き取り調査により2・3号墳があったとされている場所です。2号墳は深耕がひどく古墳の存在を示すものは見つかりませんでした。幸いにも3号墳は古墳の周囲を巡っていた溝(周溝)を検出することができました。調査は現在も継続中ですが、これまでに得られた3号墳の調査成果について、その一端を紹介したいと思います。なお、1号墳が推定されている場所についても、3号墳の調査が終わり次第、調査をする予定です。

今回の調査では、3号墳の周溝から多くの埴輪が出土し、さらに須恵器も出土したことから、3号墳は6世紀前半頃の古墳であることが明らかになりました。3号墳から出土した埴輪には、円筒埴輪や朝顔形埴輪だけではなく、形象埴輪も含まれており、豊富な種類の埴輪を持つ古墳であることもわかりました。2号墳はその存在を確実に示すものは見つかりませんが、2号墳があったとされる地点からは、多数の埴輪片や完全な形の須恵器が出土しています。

また、今回の調査区からは、石器が10点以上出土しており、縄文時代に人が生活していた痕跡も確認できました。



3号墳の周溝から出土している埴輪  
調査の成果



調査区から出土した石器



2号墳があったとされる  
地点から出土した須恵器

## (1)古墳について

3号墳の墳丘は、後世に削られてしまったため残っておらず、埋葬施設は確認できませんでした。しかしながら、周溝は東側以外の3辺が残っており、コの字状に検出できたことから方墳であることが判明しました。古墳の規模は、一辺約10m程度になると見られます。検出した周溝は、幅約2mで深さは約30~40cmあります。周溝内からは多数の埴輪が出土し、あまり量は多くありませんが須恵器も出土しています。出土した埴輪は周溝の内側に片寄って出土するため、埴輪が立ち並べられていたのは墳頂である可能性が高いといえます。また、埴輪は周溝の底から浮いた状態で出土しているため、古墳が築かれてしばらく時間が経った後になって、周溝内に落ちたと考えられます。さらに、南側周溝では形象埴輪、それ以外では円筒埴輪の出土が多く、北西コーナー付近では須恵器がまとまって出土するなど、場所により出土する遺物の種類が異なる傾向が見られます。

3号墳が造られた年代は、出土している須恵器に6世紀初頭から中頃までのものがあるため、その範囲におさまると考えられます。また、古墳の立地から4号墳よりも先に造られたと見られることから、6世紀初頭を含む前半代と考えられます。



3号墳西側周溝出土の埴輪



3号墳北西コーナー付近出土の須恵器

## (2)出土遺物について

3号墳から出土した遺物には須恵器と埴輪がありますが、今回は詳細が明らかな埴輪について説明したいと思います。

出土した埴輪には、円筒埴輪・朝顔形埴輪・形象埴輪があります。円筒埴輪や朝顔形埴輪は完全な形での出土ではないため、大きさなどは明らかではありませんが、硬質に焼き上がるものや、底部に段を持つものが含まれています。これらの特徴は、大阪府の淡輪地域の埴輪と類似する特徴であり、畿内からの影響がうかがえる埴輪です。

形象埴輪には、現在のところ人物埴輪と馬形埴輪があります。人物埴輪は頭部や腕・足が出土しており、頭部の形態から巫女を象った埴輪と見られます。また、人物の腕と見られる部位は、現状で4個体確認できることから、少なくとも2個体以上の人



3号墳出土円筒埴輪

物埴輪が古墳に樹立されていたことがうかがえます。さらに、出土している人物の足はそのままでは自立できるものではないため、座っている状態をあらわした埴輪であったことが推測できます。



出土した形象埴輪の腕



出土した形象埴輪の腕と足

#### まとめ

今回の調査成果をまとめると、郷ヶ平 3 号墳の墳形や規模、年代が明らかになり、豊富な埴輪を持つ古墳であったことがわかりました。また、築造年代からは、前方後円墳の 4 号墳よりも前に造られ、3 号墳が郷ヶ平古墳群の中では古い時期の古墳であることも判明しました。

これらの成果により、郷ヶ平古墳群内で前方後円墳の 4 号墳へ至る有力者の変遷過程を知る重要な情報を得ることができました。また、郷ヶ平古墳群への埴輪の供給や 3 号墳と他の古墳の埴輪工人の問題など、今回の調査成果の検討課題は残っていますが、引き続き調査する中で、徐々に明らかにしていきたいと思えます。

最後になりますが、今回の現地説明会を開催するにあたり、養護老人ホーム九重荘様には多大なご理解とご協力を賜りました。末筆ではございますが、記して感謝申し上げます。